

# [滋賀医科大学看護学ジャーナル第14巻第1号] 編集 後記

著者	畑野 相子
雑誌名	滋賀医科大学看護学ジャーナル
巻	14
号	1
ページ	56-56
発行年	2016-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10422/11617">http://hdl.handle.net/10422/11617</a>

## 「滋賀医科大学看護学ジャーナル」第14巻第1号 査読者名

遠藤 善裕	桑田 弘美	輿水めぐみ	白坂 真紀
瀧川 薫	立岡 弓子	中西 京子	坂東 春美
藤本 智美	本田可奈子	宮松 直美	森本 明子

(敬称略、五十音順)

## 編集後記

ここに『滋賀医科大学看護学ジャーナル第14巻』をお届けいたします。

お忙しい中、巻頭言をご執筆くださいました堀池副学長、特別寄稿にご尽力いただきました附属病院看護部長の西村路子様と平成28年3月31日付けで定年退官される森川茂廣教授、論文をご投稿くださった看護学科・看護部の教職員の皆様、大学院生・修了生の皆様、共著者の皆様、査読をお引き受けくださった学内外の先生方、看護学科事務職員の皆様に心より感謝申し上げます。

『滋賀医科大学看護学ジャーナル』は『滋賀医大雑誌』と歩調をあわせ、第10巻より電子ジャーナルとなり4年目となりました。投稿や査読のEメール活用もようやく軌道にのりました。本学における研究・教育成果の情報発信の場として、インターネット上に機関リポジトリ「びわ庫」が設けられ、その中に看護学ジャーナルも収載され、公開されています。お陰をもちまして、看護学ジャーナルのダウンロード回数は群を抜いて多いとお褒めをいただいております。現代はインターネットの時代です。国内外を問わず、誰もがアクセスできます。効果を公表する絶好の場ではありますが、多くの方々の厳しい目が向けられていることも事実です。そのためには、誰から見られてもはずかしくない質の高いものにする必要があります。

今年度までは『滋賀医科大学看護学ジャーナル』として発刊してきましたが、平成28年度からは、医学と看護学が文字通り車の両輪となり教育研究がより発展していくことを期待し『滋賀医大雑誌』と統合する予定です。より質の高い研究成果の情報発信の場として発展させていけるよう編集委員一同考えております。今年度はその移行期で、何かと戸惑うことがありましたが何とか発刊に至ることが出来ました。

今後とも、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年度からジャーナル発刊に多大なるご尽力を賜りました図書館の森川安江様はじめ教職員の皆様にお礼申し上げます。次年度からは、ホームページの作成や発刊に際しまして、今年度以上に図書館のご協力を賜ることになると思いますが、よろしくお願い申し上げます。

平成28年3月

紀要編集委員長 畑野 相子

## 「滋賀医科大学看護学ジャーナル」編集委員

委員長	畑野 相子				
委員	岡山 久代	千葉 陽子	入谷 智子	松井 晴香	池本 優子
表紙デザイン	高谷裕紀子				